

Aichi あいちの学童保育

県連協ニュース 2025-No. 4

2025 年 12 月 2 日発行
愛知学童保育連絡協議会

TEL : 052-872-1972 FAX : 052-308-3324
Email : aichigakudou@gakudou.biz



第 60 回全国学童保育研究集会が 福岡県で開催されました



10 月 25 日・26 日の 2 日間、「全国学童保育研究集会（全国研）」が福岡県で開催され、参加者は最終的に 4300 名を超えました。

初日の 25 日は福岡国際センターで全体会と記念講演が行われました。講師は大東文化大学の松田洋介先生で、テーマは「子どもたちが自ら社会をつくるには一共に生きる大人が大切にしたこと」。現代社会が子どもに与える影響を踏まえ、学童保育が「目的のない空間」や「埋め込まれた空間」を創出し、子どもの自治を育む場であることが強調されました。学童保育が「子どもたちが自ら社会をつくる」ための重要な役割を果たすことが改めて確認されました。

翌 26 日は福岡大学と福岡大学付属若葉高等学校の 2 会場に分かれ、36 の分科会が開催されました。さらに、11 月 9 日にはオンラインで 14 分科会が行われ、愛知県が 2 つの分科会の配信を担いました。

愛知県からは 195 名が参加しましたが、オンライン分科会の日程が各地域のイベントと重なったこともあり、今年度は参加者が減少しました。

次回、第 61 回全国研は山形県で開催されます。日程は 10 月 31 日と 11 月 1 日。ぜひご予定ください。

学童保育コラム

教えて賢屋さん



「こども性暴力防止法」～ 中間とりまとめ～をどうみるか

2025 年 9 月 29 日にこども性暴力防止法施行準備検討会から 298 ページにわたる「中間とりまとめ」が発表されました。すべてが学童保育に該当するものではありませんが、8 割方該当するものです。また、これまでの法案作成から考えると、微調整はあってもほぼ変わらないものが、最終案としてだされるものと思われます。また、大半が認定に関わるものです。

この法律で、学童保育は認定を受けて（任意であり、義務ではない）、安全確保措置を講じる事業者になっています。認定に関わるページが多いことからわかる様に、学童保育で認定を受けようとすると、マニュアルや計画等の作成や従事者等の決定等準備をすることが大量にあります。これらを一学童保育で準備することは大変な労力が必要であり、現実離れしているとも言えます。

学童保育での性暴力防止を考えた場合、まずは学童保育指導員の管理を市町村がすべきと考えます。公営はもちろんのこと、委託・指定管理・補助をする際に学童保育指導員の管理をすることは国の補助金のあり方からしても、そんなに労力はいらずにできると考えられます。市町村が管理すれば、学童保育指導員を雇用する際に市町村に問い合わせをすれば、判断基準になります。

また、放課後児童支援員資格を持った学童保育指導員は資格の剥奪もあります。資格スタート時点では、都道府県がまとめ、国がデータベースを作成するようになっていました。そうであれば、資格剥奪の理由が性犯罪に関わることであれば、全国どこでも都道府県を通して該当している学童保育指導員かどうか調べてもらうことが可能です。しかし、現状では国はデータベースを未だ作成しておらず、都道府県での管理となっていますので、このことはかないません。

「こども性暴力防止法」に基づく安全確保措置をつくらせて認定を受ける事を進める前に、上記 2 点をまずは行うべきと考えます。

一方で、企業型学童保育は企業イメージとして企業が作成してアピールする。保育所を運営している法人は保育所に合わせて学童保育版も作成する。ということが考えられます。そうすると、なぜすべての学童保育が作成しないのかという風潮がおこる可能性があります。すべての学童保育が認定を受ける状況になるには、市町村が基になるマニュアル等を作成して各学童保育に提供し、各学童保育がそれぞれにあったものを作成していくような方法でないと先に書いたように現実的ではないと考えられます。

今後「こども性暴力防止法」に関してどう対応していくかを、早急に市町村としっかり話をすることが重要です。

第42回あいち学童保育研究集会



あいち学童保育研究集会は3月1日の開催まで、早いものであと3か月と迫ってきました。午前の全体会では、講師に宮城県石巻市にあるNPO法人にじろくレヨン代表の柴田滋紀さんをお招きし、「子どもの笑顔が原動力」～震災体験から学ぶ“安心の場”のつくり方～というテーマで講演いただきます。また午後からは現地会場及びZoomにて15分科会に分かれ、参加者の皆さんが互いに学び交流を深める機会となるよう、実行委員会と事務局が協力しながら進めています。

申し込みは来年1月6日から開始予定です。また、恒例のカウントダウンも「あと100日」の11月21日から始まります。今年も名作揃い間違いなし！ホームページやSNSで発信していきますので、どうぞお楽しみに！ぜひ皆さんでHP（あいち研究集会で検索）をご覧ください。

今年こそ、1人でも多くの方に「あいち研究集会」を知っていただけるよう、地域の皆さんにも日程をお知らせください。そして、カレンダーの3月1日(日)には「研究集会」とご記入ください。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。(実行委員長 三輪)

県連協HPとあいち研究集会HPは別のHPになります。カウントダウンも始まりました！



【防災あいちの学童】

LINEオープンチャット登録のお願い



愛知県学童保育連絡協議会では、災害時の迅速な情報共有と安否確認を目的に、LINEオープンチャット「【防災】あいちの学童」を開設しました。地震だけでなく、大雨・洪水・台風など日常的に起こりうる災害にも対応し、地域からの報告を通じて県内全体の状況を把握・共有する仕組みづくりを進めています。

<オープンチャット開設の背景と目的>

- ・大規模災害時の情報センター機能の構築
地域の学童保育施設が被災した際、現場からの報告を

もとに、県連協が安否確認や支援調整を行える体制を目指しています。

- ・日常的な災害への備え

大雨や洪水など、頻発する自然災害に対しても、地域の状況を共有することで、連携と支援の基盤を育てていきます。

- ・「いつもの場所」を守るために

学童保育が早期に再開されることは、保護者の生活再建や子どもたちの心理的安心感は非常に重要です。そのためにも、情報の連携と共有が欠かせません。

<参加方法>



LINEオープンチャット「【防災】あいちの学童」にご参加ください。左記QRコードをLINEのできる端末で読み取り、登録をお願いします。

「日本の学童ほいく」誌の 購読状況アンケートにご協力ください

ほいく誌部会の今後の活動に繋げるため、アンケートを実施します。皆さんのご意見をぜひお聞かせください。1～2分程度で終わる簡単な内容ですので、ぜひご協力をお願いします。以下のリンクから回答できます。回答期限は12月23日(火)です。

右記QRコードより回答
をお願いします。



※各クラブ保護者1名、指導員1名を目安にご協力ください。

ほいく誌コラム



2025年9月号P27～

「子どもが生活する場になるための空間課題」

学童保育は「第2の家庭」とも呼ばれ、子どもの生活の場・居場所であることが大前提です。その生活の場に関する位置付けや歴史的な背景が書かれていて、とても参考になります。また課題についてもいくつか挙げられており、施設空間の大切さが具体的に分かる内容です。施設の環境整備のヒントにもなりますので、ぜひ、一読を。

(名古屋市・保護者OB)

